

キャンパス散策（北海道大学）

北海道大学は、学士号を授与する日本最初の高等教育機関である札幌農学校として1876年に創設されました。初代教頭のクラーク博士が札幌を去る際に学生に残した“Boys, be ambitious!”は、日本の若者によく知られた言葉で本学のモットーでもあります。135年の歴史の中で育まれた、「フロンティア精神」、「国際性の涵養」、「全人教育」、「実学の重視」を教育研究の理念として掲げ、現在、国際的な教育研究の拠点を目指して教職員・学生・同窓生が一丸となって努力しています。



William S. Clark 博士像

12学部、18大学院、3 附置研究所、3 全国共同利用施設、22学内共同教育研究施設（総合博物館を含む）、附属図書館、大学病院を擁し、北海道と和歌山に計9カ所の研究林、道内6カ所に臨海・臨湖実験所、その他牧場、果樹園、2隻の練習船も所有しています。このように、サステナビリティに関する基礎的な研究や実習を行う施設が揃っているのも本学の特徴です。学生数は18,195人で83カ国・地域からの留学生1,162人を含み、国際交流協定も39カ国・地域207協定を数え、これから一層の国際化に向けた取り組みを行っていくところです。

キャンパス紹介

札幌キャンパス、函館キャンパスその他地方施設を合わせた土地面積は国土の0.2%、東京23区よりも広い660km²。札幌キャンパスだけでも1.8km²で東京ドーム38個分にもなります。観光スポット、市民の憩いの場にもなっています。



2009年から北海道マラソンのコースに

持続可能な社会を目指した取り組み



広大で美しいキャンパスでは、持続可能な社会づくりに貢献するキャンパス運営を目指し、様々な環境・省エネルギー対策に取り組んでいます。

世界の第一線で活躍する教員が、“環境・サステナビリティ”をキーワードに、高校へ出張講義を行う「北海道大学プロフェッサー・ビジット」は今年で4年目を迎え、最先端の研究を高校生にわかりやすく伝える機会を提供しています。また、“持続可能な社会”の実現に寄与する研究と教育を推進させるため

に2007年から毎年行っている「サステナビリティ・ウィーク」では、シンポジウムや市民向け講座を全学一丸となって開催し、これまでに延べ約36,700人に参加いただきました。

おもてなしの場：北大交流プラザ「エルムの森」

平成22年6月24日に新たにオープンした北大交流プラザ「エルムの森」は、JR札幌駅から徒歩7分。正門をくぐって、すぐ左手という立地条件から、「大学のおもてなし」の場として、学内のイベント情報や学会の開催状況をはじめ、観光情報などの幅広い問い合わせに対応できるように努めるとともに、これまでのグッズショップのほかにカフェも新たに併設して北大へいらした方々をお迎えします。

北大へお越しの際は、まずこちらにお立ち寄り下さい。



木漏れ日が差すホール



留学生もスタッフとしてご案内します

きめ細やかな学生サポート体制

学生一人ひとりが充実した学生生活を送れるように、様々なサポート体制を整えています。



企業研究セミナーの様子

■キャリアセンター：就職情報の提供、就職ガイダンス・セミナー及びインターンシップの実施などのキャリア支援を行っています。専門資格を有するキャリア・アドバイザーを配置して学生の就職に関する相談にきめ細かな対応を行っています。

■学生相談室：履修・勉強方法等修学上の問題、進学・就職等進路上の問題、家庭や友人関係等、様々な問題を抱えて悩む学生の相談に応じ、カウンセラー（臨床心理士）がその解決のために適切な助言・援助を行います。

■ピア・サポート室：学生生活を送る上でわからないことがある時「どこに聞いたら良いか教えて欲しい」と思ったり、自分ひとりでは行き詰ってしまった時「他の人はどうしているのだろう」と思ったりすることがあると思います。そのような疑問を

解消するため、学生同士で気軽に相談できる場所として、「ピア・サポート室」があります。学生ピア・サポーター 11 名が、様々な悩みや問題に対し適切な相談窓口を紹介しています。

■学生ボランティア活動相談室：相談員（ボランティアコーディネーター）と補助者（本学学生）が、ボランティア活動に関心のある学生の相談に応じ、活動の場に関する情報を提供するとともに、ボランティアを行うにあたっての心構え等を指導しています。

■留学生サポート・デスク：日本の大学生活に慣れた留学生 2 名が相談員として留学生センター玄関ロビーに常駐し、日本語・英語・中国語で留学生から寄せられる様々な問い合わせに応じ、各種申請書類などの作成支援や日本語による通知文などの内容説明、学内電話通訳などを行っています。

■北大元気プロジェクト：キャンパス生活をより快適に、充実したものにしてもらうため、学生による独創的な企画を募集して活動資金を補助しています。学生による映画館、カフェの運営や地域社会との連携を図るものなど様々なアイデアが実現しています。

学外オフィスを基点にした活動

北海道という場所から発信し、多くの人と交流するためには、学外オフィスの役割がとても重要になります。現在、3つを基点に活動をしています。「東京オフィス」（東京駅日本橋口サピアタワー内）は教職員や学生が関東圏で活動する際の拠点として、また、入試情報の提供や同窓生交流の場としても活用しています。「産学連携本部東京支部」（東京都港区芝浦キャンパス・イノベーションセンター内）は企業との連携交渉や情報収集を行っています。海外拠点として、「北京オフィス」（北京大学隣接）では、情報収集、入試広報、大学院入学者選抜のための面接試験実施、留学生受入のための連絡調整、本学教職員や中国同窓会の活動支援、日本の国内企業と中国の大学との産学連携支援を行っています。



留学生サポート・デスク



就職活動拠点でもある東京オフィス



留学フェア（於：上海）参加